

福井新聞

発行所
福井新聞社
 福井市大和田町56
 郵便番号 910-8552
 電話 0776(57)5111
 読者センター 57-5140
 © 福井新聞社 2011年

「3・11」から半年の9・11。その「9・11」米中枢同時テロ発生から10年を経た。テロで崩壊した世界貿易センター跡地は再開発が進み、新しいセンターを建設中だ。忌まわしい痕跡が次第に消えつつある▼この場所を「グラウンド・ゼロ」と呼んでいる。核爆弾の「爆心地」という意味だ。ネバダ砂漠の核実験場もそう呼ばれている。何より広島と長崎の原爆投下地こそグラウンド・ゼロである▼米国ではこの呼称を超大型ハリケーンの被害地にも使った。その意味で未曾有の東日本大震災、福島第1原発事故の被災現場もグラウンド・ゼロといえる▼慶大の保井俊之・先端研特任教授は「9・11」と「3・11」の共通点を、「どちらも大規模、複雑な社会システムに対するメカリスクの襲来」と表現する▼リスクは事前に把握できていたはずなのに、防げなかった。「メカリスクに対するインテリジェンス(情報収集・分析)の敗北」と指摘し、「想定外」に警鐘を鳴らす▼ニューヨークでは「グラウンド・ゼロ」の呼称を見直す動きがある。「暗い過去にこだわるより、未来志向で」という考えか。いかにも米国らしい発想だ▼日本はどうか。ヒロシマ、ナガサキは世界を核廃絶へ導く未来志向の「負の遺産」である。震災と原発事故の苦難も同じ。何が「敗北」だったのか。「ゼロ」にこだわり続ける理由がある。

越山若水

福井新聞 2011年9月11日(日) 朝刊第1面